

2025年 2 月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2025/2/8 10:00~15:30

2. 開催場所 中部品質管理協会

3. 会員参加者<敬称略> S:オンサイト出席・L:オンライン出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	伊藤	S	舟山	S	出島	S	水田	S
山中	欠	山口(展)	書	黒田	S	鈴木	L	池田	S	山口(直)	S	前田	S	北村専務	S
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	福田	休		

4. 研究会内容

1) 「MT法特徴量抽出について」(山口展)

波形データを特徴化する際の存在量・変化量の定義・求め方について相談した。
市販ソフトを使った結果と自分で計算した結果に違いが見られたので、その原因についての議論や、他の研究会メンバーが行っている波形の特徴化技術など意見交換を行った。

2) 事務局連絡

25年度の予定の確認、合宿の場所決め、会計報告等を行った。
各種参考書籍について、各会員の持っている/いないの確認を行い、持っていない会員の分は会の予算で購入する。

3) 講演「日産自動車での品質工学推進活動における人財育成」 日産自動車 品質工学エキスパート 西野 様

■日産自動車社内での品質工学の普及と活用

- ・品質工学の普及は、経営課題の達成に貢献するものでなくてはならない。
- ・品質工学が有効な領域を明確化し、その領域であれば必ず品質工学を活用する仕組みをつくり運用している
- ・テーマの発表会には役員が出席し、実践者のモチベーションを高める。

■社内研修について

- ・6W1Hで考え、Whom=技術員とし、技術員は100%受講する。
- ・初心者には数理はあまり教えない。
- ・自己課題をみつけて実践することを上司にも納得してもらったうえで参加させる。
- ・社内で作成したツールを配布し普及させている。

■推進者について

- ・レベルに応じて昇格する4段階の資格認定制度になっており、高いレベルの推進者は担当するテーマ数も多くなる。
- ・テーマの節目にはレビューを行う
- ・「レビューの心得」をつくり、推進する人間も実践者も有意義なレビューになるようにする。
- ・組織表に役割として記載し、プレゼンスを高める。

★知識を得た者が考える力を発揮することで、目の前の課題に適用させ、普及が進んでいく。